

# 三重教務所通信

2022  
5月号



発行人:三重教務所長 安田 雅  
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00  
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010  
✉ 三重教務所 E-mail mie@higashihonganji.or.jp  
桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



## ○三重教区第11次壮年特別伝道本講座が再始動

新型コロナウイルス感染症拡大のため、2年間の順延を余儀なくされていた第3ブロック本講座1年度目が長島組、四日市組で開講した。長島組（受講者21名、スタッフ17名）では4月9日に桑名別院本堂で第1回本講座が開催され芳岡恵基講師、大橋宏雄補導により講義、班別座談会、まとめの講義が進められた。

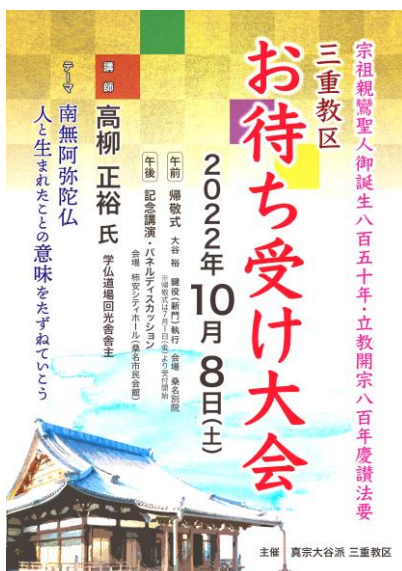
また、四日市組（受講者13名、スタッフ7名）では4月17日に法藏寺を会場に第1回本講座が開かれ、午前は西寺真也補導によるオリエンテーションと「真宗入門」の講義、昼食を挟んで班別座談会、森 英雄講師の講義、質疑応答が持たれた。

2年に及ぶ順延の中、組内での企画会議、スタッフ学習会を重ね、特別伝道の願いと目的を確認しつつ、講座の再構成、受講生の再募集を経て、この度の第1回本講座を迎えるに至った。今後は長島、四日市組ともに本年10月の第6回本講座まで別院、真宗本廟等で研修を重ね「僧侶、門徒が共に聞き、共に語る」聞法生活の出発点を開くことが願われている。



四日市組特伝講師 森 英雄

## ○宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要三重教区お待ち受け大会について



既報のとおり、2023年3月から4月にかけて厳修される、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けて、「三重教区お待ち受け大会」が10月8日（土）に開催されます。

このたび、周知用ポスター及びチラシを作成しましたので、各寺院の組門徒会員をはじめ、有縁の方にお知らせくださいますようご案内いたします。

なお、当日の詳細を記したチラシを、7月末に再度送付予定です。

## 【宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要三重教区お待ち受け大会概要】

期 日	2022年10月8日（土）
会 場	桑名別院及び「柿安シティホール・大ホール」（桑名市民会館）
講 師	高柳正裕 氏（学仏道場回光舎舎主）
テ ー マ	慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」
日 程	午前 帰敬式（桑名別院） 9：00～帰敬式（1回目） 10：30～帰敬式（2回目） 午後 お待ち受け大会（柿安シティホール） 13：30～ 開会・挨拶・勤行 14：00～ 記念講演（高柳正裕 氏） 15：15～ パネルディスカッション パネリスト 中山郁英 氏（長浜教区徳満寺門徒、企画調整局参事、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要テーマに関する教学委員会（課題別委員会）委員） 寺田桃花 氏（鹿児島教区願船寺衆徒、九州教区鹿児島教務支所教化相談員、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要テーマに関する教学委員会（課題別委員会）委員） コーディネーター 大橋宏雄 氏（中勢一組浄願寺衆徒） 16：30 閉会

入場整理券	入場整理券は、7月29日の正副組長会開催時に、各組長へ寺院数×4枚分をお渡しします。整理券の組内寺院への配分については、各組にお任せします。
そ の 他	当日は、インターネットによるライブ配信を予定しています。詳細は、後日（7月末頃）発行のチラシにてお知らせします。

### 帰敬式受式者募集

三重教区では、今年度より新たな帰敬式実践運動推進計画を策定し、教区、別院、組及び寺院における帰敬式の執行奨励について歩みを始めています。

このたび、その取り組みの一環として、別紙チラシのとおり、大会当日の午前中に、2回に分け、合計100名の帰敬式受式者を募集します。

桑名別院へは、初めて大谷裕鍵役（新門）が来院し執行されます。

教区内住職及び代務者の皆さま方におかれましては、この機会に、ぜひ帰敬式の受式をご門徒方に奨励くださいますようお願い申し上げます。

日 時 2022年10月8日（土）9時～11時30分

執行者 おおたに ゆう 大谷 裕 鍵役（新門）

申 込 2022年7月1日（金）から8月31日（水）まで

## ○「花まつり子ども大会」について

去る4月4日、2021年度花まつり子ども大会を開催しました。大会前日まで雨の日が続きましたが、当日は晴天にも恵まれ、境内の桜が舞い散る中での開催でした。

今回、3年ぶりの子どもたちを対象とする花まつりでしたが、58人の参加者が桑名別院本統寺に集い、境内には子どもたちの楽しそうな笑い声であふれていました。

今年度は参加人数を制限しての開催でしたが、来年度は通常通りの開催ができたと思っていますので、たくさんの方のご参加お待ちしております。



なむあみ  
だぶつ…



たのしんで  
くれたかな？



## ○研修会(公開)のお知らせ 詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください

### 『差別と人間を考える』協議会公開学習会

- ◎日 時 5月9日(月) 15時～17時
- ◎場 所 桑名別院本堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 片山寛隆 氏(三講組相願寺住職)
- ◎内 容 『是旃陀羅』問題について
- ◎参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。
- ◎申 込 三重教務所までメール(E-mail mie@higashihonganji.or.jp) または  
電話(0594-21-8000)にて申し込みください。

### ジェンダー問題に関する公開講座

- ◎日 時 5月10日(火) 13時30分～16時30分
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂
- ◎講 師 岡 久美子 氏(シニアライフ研究所 りあもでんな代表)
- ◎内 容 「私の困ったはみんなの困った」～ お寺でできること ～
- ◎参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込み  
ください。

### 東海連区坊守研修会

- ◎期 日 5月17日(火) 13時～16時20分
- ◎開催形態 YouTube ライブ配信によるオンライン研修
- ◎講 師 榑野 明仁 氏(岡崎教区第11組本澄寺住職)  
講題「琵琶で語る蓮如上人御絵伝」  
安藤 弥 氏(岡崎教区第7組浄専寺候補衆徒)  
講題「蓮如上人と三河の真宗」
- ◎視聴方法 当日、時間になりましたら岡崎教区ホームページ「岡崎  
教区からのお知らせ」から、「東海連区坊守研修会」をク  
リックいただくか、右記QRコードを読み取ってアクセ  
スください。



### 教研公開講義(浄土論註概論)

- ◎期 間 5月19日(木) 14:00～20:30  
20日(金) 9:00～16:00
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂
- ◎講 師 山田恵文 氏(大谷大学准教授/三重教区 安正寺住職)
- ◎参加費 3,000円 他食事代等実費
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込み  
ください。

### 育成員研修会

- ◎期 間 5月26日(木) 13:30～27日(金) 11:30
- ◎場 所 桑名別院本堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 梶原敬一氏(真宗大谷派教学研究所元嘱託研究員)
- ◎テーマ 「僧伽に召される一同朋会運動の願い」
- ◎対 象 住職・教会主管者、坊守、寺族、門徒
- ◎参加費 2,000円 他布団代等実費
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

### 子ども会開設サポート研修会

- ◎日 時 5月30日(月) 13:30～16:30
- ◎場 所 桑名別院本堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 渡邊愛子氏(仏典童話作家・同朋新聞に記事連載中)
- ◎内 容 仏典童話を読む(朗読を交えてお話しいたします。)
- ◎参加費 無料
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

### 「是旃陀羅」問題に関する教区学習会

- ◎日 時 6月3日(金) 14:00～16:30
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 中山善雄氏(教学研究所研究員)
- ◎参加費 無料
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

### 真宗門徒の集い

- ◎日 時 6月15日(水) 13:00～16:00
- ◎会 場 柿安シティホール・小ホール(桑名市民会館)
- ◎講 師 荒山 信氏(名古屋教区恵林寺住職)
- ◎テーマ 『親鸞聖人の教えから観る私の生活』
- ◎講 題 『凡夫の上に開かれる魂』
- ◎参加費 500円
- ◎申 込 お手次の寺院にお申し込みください。

## 5月のテレホン法話

- 5月 1日～15日 …五瀬 勝明 氏 (桑名組 佛乗寺住職)
- 5月 16日～31日 …大谷 健 氏 (南勢2組 西善寺衆徒)

心をひらく

24時間 いつでも どこでも テレホン法話  
☎ (0594) 23-6191

【敬 弔】 生前のご功労を深謝し謹んで哀悼の意を表します

三講組 林證寺 前坊守 服部 一枝（2022年4月7日寂）

（敬称略）

## Dialogue (ダイアログ・対話) — 教区教化委員会報告—

### ○ 教化推進総務会

・ 4月14日に会議を開催した。協議内容は、(1) 教区合同協議会、(2) 新任住職・新教師歓迎懇話会、(3) お待ち受け大会の実行委員会体制、(4) 教化委員会総会等について。はじめに5月2日開催の教区合同協議会について、今回の協議会は教区教化委員会各部門より2名程参加いただき、①「宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け大会」を迎えるにあたって、慶讃テーマの受けとめ、②今後の三重教区の教化事業内容と教化体制について、の内容で協議する。次に、新任住職・新教師歓迎懇話会については、コロナ下により2年間開催を見合わせていたが、このたび6月11日(土)に、①住職に任命された方、②当派教師に補任された方、③他教区から当教区へ転入されてきた当派教師の方を対象に開催する。お待ち受け大会の実行委員会体制については、来る10月8日(土)開催の「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要三重教区お待ち受け大会」の執行体制について協議した。最後に、教化委員会総会(6月23日開催)について、当日の進行について確認した。

次回は、6月17日(金)午後1時30分から開催する。

### ○ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に係る企画要員会議

・ 4月26日に第6回全体会を開催した。協議内容は、来る10月8日のお待ち受け大会の執行体制、役割分担、前日と当日のタイムテーブルや大会までのスケジュールなど。今後、教区内僧侶及び門徒にスタッフとして就任いただき進めていく。次回は、6月7日(火)午後1時30分から、執行体制スタッフ全体会を開催する。

### ○ 特伝推進本部

- ・ 3月30日に本部長、主任会議を開催。「北勢ブロック特伝合同協議会」について協議。
- ・ 3月31日に「北勢ブロック特伝合同協議会」(於：桑名別院)を対面・オンライン併用で開催。桑名組6名、長島組9名、員弁組2名、三講組2名、三重組8名、四日市組4名、オンラインで9名が出席した。第11次の経過が報告され、第12次実施に向けた変更点が提示された。特伝本部への要望として①体験(見学)制度の再考。②第12次特伝での各組の補導選任時期の再検討が挙げられた。
- ・ 4月4日に特伝本部臨時会を開催。9名が出席。(i)「北勢ブロック合同協議会」報告。(ii)「南勢ブロック合同協議会」について協議。
- ・ 4月6日に「南勢ブロック特伝合同協議会」(於：無碍光寺)が開催され南勢1組8名、南勢2組4名、本部員4名が出席した。第11次の経過が報告され、第12次実施に向けた変更点が提示された。班別・全体協議では変更点が承認された後、特伝本部への要

望として①住職、坊守、寺院役員が「推進員の役割」について理解を深める機会の創出と、受講者に対する「推進員」についての丁寧な説明。②所属組（部）以外の特伝への参加奨励のため、実施組（部）の「募集要項」を教区全体で共有する方途の検討。③「教区特伝ハンドブック（仮称）」の作成要請が挙げられた。

- ・4月12日に対面・オンライン併用で月例会議を開催。(i)第12次以降のブロック改編。(ii)A特伝経費の見直し。(iii)第11次特伝伊賀組休止について。(iv)第12次特伝「体験（見学）制度再考」について協議し、各組の進捗状況が報告された。
- ・4月19日に「特伝本部員学習会」（講師：高柳正裕氏）を開催。

## ○ 寺族門徒研修小委員会

- ・3月29日（火）に得度義務研修会を開催した。今年度も引き続き、感染防止対策をとりながら、小学生5名、大人2名の計7名が参加した。開会式後、午前中は、山崎信之氏（准堂衆補・南勢2組福壽寺住職）による声明作法及び装束作法の講習を行った。午後からは子ども班と大人班に分かれ、「得度の意義」について講習を行った。子ども班の講師は、午前に引き続いて、山崎信之氏（青少幼年教化小委員会委員・南勢2組福壽寺住職）、大人班の講師は片山寛隆氏（三講組相願寺住職）が担当し、研修会終了後、得度考査が行われた。



得度研修会での声明作法  
（開光殿。講師：山崎信之氏）

- ・得度義務研修会終了後、会議を開催した。内容は、5月26日（木）～27日（金）に開催する育成員研修会の定員の再検討、4月22日（金）に開催の帰敬式執行者研修会の司会者、また、5月2日（月）の教区合同協議会出席者について協議した。次回会議は、4月22日（金）午前10時から正午まで、議題は小委員会としての慶讃テーマ受けとめ文章化についてなど。



研修会終了にあたり、受講証を教務所長より受け取る

（寺族門徒研修小委員会委員 伊藤 英基）

- ・4月22日に桑名別院本堂にて「帰敬式執行者研修会」を開催し、18名が参加した。同研修会は「教区帰敬式実践運動推進計画」の一環として「帰依三宝」「仏弟子」等についての学びを深め、未受式の門徒へのご縁づくりを確かめると共に、一般寺院での儀式執行演習の機会としている。講義Iでは尾畑文正氏（員弁組泉稱寺前住職）が帰敬式について「儀式の執行者と受式者が互いに『非僧非俗の精神』を確認する共同作業が帰敬式執行の意義である」と語られた。



尾畑文正氏（帰敬式の意義）

続いて佐藤正幸氏（桑名組常音寺門徒）が感話として「今、私たちの課題は葬儀、中陰、法事という教化の現場で、僧侶、門徒の一人ひとりが帰敬式受式の重要性を伝えら



松田 憶氏による執行者研修

れていないことでしょう」と問題提起をされた。講義Ⅱでは松田 憶氏（本廟部式務所）と共に執行時の内陣、外陣の荘厳、執行者と係役の役割、作法についての演習が行われた。

## ○ 青少幼年教化小委員会

- ・ 4月18日（月）同朋会館で会議を行った▽総務会報告では慶讃法要お待ち受けについて経過を駐在より報告があり、その後慶讃法要についての感話を行った。▽教区合同会議には幹事の他2名に出席いただくことになった。また、慶讃テーマについての受け止めについて各小委員会で文章を作成しており、青少幼年としての文章は幹事が書き、委員に意見をいただくこととした▽青少幼年だよりは7月発行に向けて作成を進めていく▽本山慶讃事業「子どものつどい in 東本願寺」（2023年5月5日）について、団体参拝ができないかを検討▽新任住職・新教師歓迎懇話会について、若手との懇親・今後の教区とのつながりを考えると、青少幼年から幹事以外の若手も出席することで、参加者も気兼ねなく参加できる雰囲気をつくりたい。教区の最初の入り口は大切にしたい▽次回は6月16日（木）13時半より総会を三重同朋会館にて行う。

## ○ 社会教化小委員会 公開講座「真宗と社会問題」

- ・ 4月15日に公開講座「真宗と社会問題」（於 教務所3階講堂）を講師に佐野明弘氏（石川県 光闡坊住持）をお招きして開催した。会場18名、オンラインで18名の参加者があった。

講義の中で、氏は、今まさに起こっているロシアのウクライナへの侵攻という悲惨な現状から、いのちのありようを、戦争で殺すという暴力を「やった方が悪い、被害を受けた方が可哀そう」それだけでは収まらないものがあるのではないかと問いを投げかけられた。そして、十方衆生のいのちの平等性は業縁存在であるという、この一点でのみ成り立つとおっしゃった。さらに、いのちに付加価値など求めずに、煩惱具足の我に「ただ念仏せよ」とうなづかれた親鸞の、ここを大切に頂いていきたいと結ばれた。

人間の機微にふれた、とても深い内容の講義であったと思う。現代社会を生きる私たちの日頃の思いが、改めて根底から問い直されたような気がした。また真宗門徒として社会でおこる問題にどう関わるか、あるいは善悪の問題を超えて、その奥にある視座を養うことの難しさを考える機会にもなったように思う。

（社会教化小委員会委員 石川加代子）



佐野 明弘 氏



## ○ 教学研究室

- ・ 4月5日に第16回『聖典基礎講座』（講師：高柳正裕氏）が「諸仏に遇うとは」の講題で対面・オンライン併用にて開催され、21名が聴講した。高柳氏は「如来の用きに頭が下がっている人、その人を通じてこちらは如来に出遇っているわけです。如来の用きに頭が下がっているその人が釈迦如来であり、親鸞聖人が出遇った七高僧であり『諸仏如来』なんです」とし、また「サンガ（僧伽）は『特殊な体験を持つ人、仲間の集まり』ではなく、無量寿経の阿難からすれば『去来現の仏、仏と仏と相念じたまえり』と見えたというのは、阿難に念仏が発こり、そこに去来現の仏という時空が開かれた。そこにサンガが開かれた。一人の念仏者に開かれる去来現の仏の世界が『諸仏の世界』であるということです」と話された。
- ・ 4月8日に月例会が対面・オンライン併用で開催され、研究員8名が参加。藤嶽室長の講義『観経疏・序分義』「厭苦縁」を受けての座談・攻究の中で、室長は「『厭苦縁』であきらかになるのは、人間存在が抱える課題は人間の意識の上だけでとらえるのではなく、仏を尋ねなければ明らかにならない深い心に、自分自身の問題や願いとしてある。そのことが、釈尊が韋提希の願いを超えて王宮に出でたもう展開の中に、深い出来事として語られています。加えて凡夫は菩提心を発こして覚りの世界を求めるのではなく、恨みでしかない、愚痴としか言いようのない姿の中に大事な何事かがある。恨みや愚痴の中にこそ善導が確かめるような「この苦を厭い、離れようとする大きな機縁」がうごめいていることであると考えます」と語られた。

## ○ 教区坊守会

- ・ 4月7日（木）委員会を開催した。はじめに来期の教区坊守会研修会について委員の皆様と講師と内容等のご意見を伺った。次に東海連区に向けてのスケジュールをお伝えし委員会も通年よりも多く開催する予定であることと連区に向けてのご協力をお願いした。そして弔詞の代読についての作法の確認をし、さらに10月8日に開催されるお待ち受け大会について華岡主事より説明していただいた。  
その後役員会を開催。来期研修会についての打合せ、4月25日の若坊守研修会についての確認を行った。次回は5月24日開催予定。

## 今月の法語

空念仏 まことによるし いつの日か

空は棄たりて まことは残る

藤原 正遠

## 晴耕雨読（教務所員から）

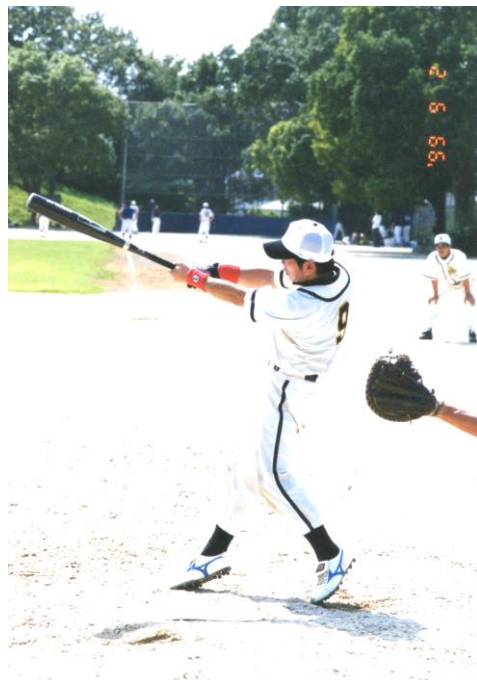
教務所長：安田 雅

待ちに待った球春到来。プロ野球が開幕して約1か月が経ちます。ここ数年低迷が続く我がドラゴンズ（他球団ファンの方にはごめんなさい）は、立浪監督を迎えて久しぶりに期待のもてるシーズンとなり、ここまでは積極的な若手起用が功を奏し首位争いを演じています。セ・リーグの優勝は難しいまでもクライマックスシリーズ進出。私たちの報恩講シーズンを迎える頃までは楽しましていただきたいと願うばかりです。他球団ファンの方には本当に本当にごめんなさい。。。。。

そして、我が三重教区野球部（星川大地主将）も4月25日に初練習を行いシーズンインとなり、年甲斐もなく小生も参加させていただきました。今は体中の筋肉痛に堪えながら本稿を書いています。三重教区においては、野球部の活動を教化事業の一環として、若手養成の機会と捉えて活動してきました。野球部は、秋に開催される「東海連区野球大会」に照準を当てて活動していますが、この連区野球大会の歴史は古く、1978年（昭和53年）に第1回大会が開催され、44年もの間、野球を通じた若手？寺族、門徒の繋がり場の場として開催され続けています。

この大会の歴史を少し紐解いてみると、昭和40年代に三重教区と岡崎教区が毎年ソフトボールの定期戦を開催していたところ、他の教区も参加したいという希望があり、連区野球大会へと発展したと先輩から聞き及んでいます。台風、雨天、「井波別院」問題などによって中止された年もあり、36回の開催で、優勝回数は岡崎教区が14回で最多、続いて名古屋教区の10回、大垣教区の8回、高山教区3回で続き、三重教区は1回優勝しています（ちなみに岐阜教区は0回）。三重は唯一2004年に「奇跡の優勝」を遂げています。当時、小生も捕手として美酒を味わいました。

その後は、少し低迷気味ではありますが、今年は三重教区が当番での開催となります。秋頃のコロナの感染状況により開催の有無の難しい判断をしなければなりません。18年ぶりのホームでの優勝に向けて、一丸となって活動してまいります。どうか野球経験者の方、そうでない方、コロナで運動不足の方・・・どなたでもご参加いただければ嬉しいです。そして応援、声援も宜しく願います。



当時の華麗なバッティングフォーム



日	曜	行事内容
1	日	
2	月	教区合同協議会 13:30-
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	合唱団「ひかり」練習 13:00-
7	土	
8	日	
9	月	差別と人間を考える協議会総会及び公開講座 14:00-
10	火	ジェンダー問題に関する公開講座 13:30-
11	水	坊守会現地研修会
12	木	特伝本部会議 13:30-
13	金	三重同宗連役員会 15:00-(於:曹洞宗第一宗務所)
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	花まつり子ども大会反省会 15:00- / 【連区】坊守研修会
18	水	
19	木	ㄱ 教研公開講義 14:30-
20	金	
21	土	① 長島組特伝本講座 13:00-(於:了清寺)
22	日	② 四日市組特伝本講座 10:00-(於:西福寺)
23	月	⑰聖典基礎講座 13:30-
24	火	高柳氏との打合せ会議 10:00- / 坊守会役員会 13:00-
25	水	仏青報恩講 14:00-
26	木	ㄱ 育成員研修会 13:30-
27	金	住職・坊守追弔会 11:30-
28	土	寺院活性化支援室事業「中勢2組・同朋法話会③」(於:願了寺)13:00-
29	日	
30	月	子ども会開設サポート研修会 13:30-
31	火	東海連区同朋の会推進交流研修会 10:00-

① ご坊さんだより ②お待ち受け大会ポスター(寺院のみ2枚)及びチラシ ③帰敬式のご案内 ④真宗門徒の集いチラシ